

【参考】サービス等利用計画の良くない例

様式2-1

サービス等利用計画

利用者氏名	〇〇 〇介	障害程度区分	区分5	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター
障害福祉サービス受給者証番号	123456789	利用者負担上限額	〇〇円	計画作成担当者	〇〇 〇〇
地域相談支援受給者証番号	987654321	通所受給者証番号			
計画案作成日	平成24年11月25日	モニタリング期間(開始年月)	毎月(平成24年12月)	利用者同意署名欄	〇〇 〇介

希望する生活	利用者:〇〇事業所(就労継続支援B型事業所)に通いながら、施設でやっていたコースを続けたり、時々外出や外食を楽しみたい。 家族:どのような生活になるか。 ・本人にとって分かりやすい言葉にする。単に単語を並べるだけでなく、何をどうして、どういう方向に向かうのかを記述する。
総合的な援助の方針	自立生活支援。ヘルパー利用。
長期目標	安定した一人暮らしが送れるようサービス利用の調整、生活面、健康面の確認を定期的
短期目標	一人暮らしに向け本人とともに取り組む。サービスの利用調整などを行う。

優先順位	本人のニーズ	支援目標	達成時期	福祉サービス等		本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	困ったときにすぐに相談したい。	夜間連絡体制等を整え、緊急事	1年(平成25年12月)	地域定着支援	〇〇相談支援センター	困ったときには連絡をする。	毎月	本人が困ったときに連絡を受け、必要がある
2	ヘルパーを入れ調理、家事を行う。	ヘルパーを依頼する。	平成24年12月	居宅介護(家事援助)毎日夕方1.5時間。	〇〇ヘルパーステーション	IADLは不可欠なので支援が必要。本人にはその自覚がないので介助要。		生活のどの部分の支援をしているか理解してもらいながら業務をすすめる。自分でできることをしてもらうようにする。
3	お風呂では湯船に一人で入れないので手伝ってほしい。自分では洗えない体の一部を洗ってほしい。	ヘルパーを依頼する。		3回。	〇〇ヘルパーステーション	遠慮せず自分では洗えないところをヘルパーに頼む。	毎月	ヘルパーは本人の申し出だけでなく、洗えていない体の部分を観察し介助する。
4	就労継続支援B型の利用。	安心して日中活動に通えるように配慮してあげたい。	3ヶ月(平成25年2月)	就労継続支援B型(週5日)10時から16時まで。	〇〇事業所(就労継続支援B型事業所)	事業所が迎えに来るまでに自分で準備をする。	毎月	送迎は事業所のバスを利用。
5	一人で外出したり外食したい。	外出や外食をする。	平成25年2月	移動支援(週1回)	〇〇ヘルパーステーション 〇〇相談支援センター	〇〇相談支援センターに外出先の情報を教えてもらい、自分の意見を言う。外出先や食いのをきちんと伝え外出の準備をする。	毎月	外出や外食の情報を提供し、自分の意見を伝えてもらう。
6	地域のコーラスサークルに入りたい。	実際に参加できる地域のコーラスサークルを見つける。	1年(平成25年10月)			いる調べながら自分の意図を伝える。	毎月	